

令和5年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立米子白鳳高等学校学校

学校長 椿 幾雄

評 価 日	令和 6 年 2 月 2 1 日 (水)
評 価・提 言	学校の所見・改善策
1 重点目標の達成状況について 社会に出た後、高校の卒業資格を取りたいとの思いを救える場所がある。生徒の様子が落ち着いており、学校の取組が浸透してきていると思われるので、もう少し自己評価にAをつけてもいいのではないかと感じる。生徒は開校時より落ち着いてきているし、学校の取組(学校目標、教育方針)が生徒の人格形成にいい影響を与えていると感じている。 2 目標達成のための取組結果について 生徒の取組の成果を発表する学習発表会では、生徒が心や生き方について深く考え発表していて感動した。大きなステージでたくさんの人の前で自分の考えや意見をまとめて話せる力が付くことは素晴らしい。自分の思いを伝える発表は聞いている側の心に響いた。日頃の取組がうかがえる。 3 目標達成のために取り組んだ具体方策について 一生懸命に伝統や郷土芸能に取り組む姿が素晴らしいと感じた。1年間交流し、生徒の表情が穏やかで、こども園側にもいい影響が出ている。丁寧な挨拶ができ、素敵な一面を見ることができた。今後も交流を続けていきたい。高校は地域とのつながりで人間の基礎作りをしている。大人との交流で社会を知り、話をする中で自信を持ち、つながりを広げ、少しずつ変化している。自信がついた活動があったと感じる生徒が多いことは評価が高いと思う。 4 その他 テーブルマナー講習会やフラワーアレンジメント講習会は生活の中で必要な技術を積ませる。家庭では教えられないこともあるため、経験が生徒の自信につながるということから継続してほしい。	・体験学習等において、多くの人との出会いを作り、心豊かに他と共生する態度の育成や社会的な自立に向けた支援に努めていきたい。 ・今後も自立に向けた活動を系統的に企画し、実施していきたい。 ・地域の人材や素材を活用した教育活動は、生徒自身の誇りや自己肯定感につながるため、事業の更なる充実を図りたい。 ・地域とのつながりを大切にし、地域連携による生徒の「ふるさと」とつながる心の育成に努めていきたい。 ・地域の人々との交流や、生徒自身が地域文化・伝統への関心を深めて参画していくなど、地域の人材や素材を活かした教育活動を推進していきたい。 ・今後も引き続き、体験活動を通して生徒自らが進んで行動できるよう、事業を実施したい。